



スケジュールの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [スケジュール管理の概要, 1 ページ](#)
- [スケジュールの作成, 1 ページ](#)

スケジュール管理の概要

スケジュールを定義することで、特定のタスクを異なるタイミングで発生するように保留することができます。たとえば、ファームウェアのアップデート、サーバ検出、ポリシーおよびプロファイルの適用などのタスクを事前に定義した時刻または事前に定義した頻度で実行するようにスケジュールできます。サーバの作業負荷が低いオフピーク時にタスクをスケジュールできます。

スケジュールの作成

新しいスケジュールを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 メニュー バーで、[Policies] > [Manage Schedules] を選択します。
- ステップ 2 [Add] をクリックします。
- ステップ 3 [Create Schedule] ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

フィールド	説明
[Schedule Name] フィールド	スケジュール タスクの名前を入力します。

フィールド	説明
[Enable Schedule] チェックボックス	スケジュールを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。スケジュールを有効または無効にすることにより（[Enable] または [Disable] オプションを使用）、スケジュールに関連付けられているタスクの実行を有効または無効にできます。
[Scheduler Type] オプション ボタン	<p>1 回限りのスケジュールか、繰り返しのスケジュール間隔を選択します。</p> <p>[One Time] スケジュールを選択した場合は、日付、時刻、および AM または PM のオプションボタンを選択します。</p> <p>(注) スケジュールの時刻はアプライアンスの時刻に基づいています。ただし、タイムゾーンはローカルクライアントブラウザに基づきます。</p> <p>[Recurring] スケジュールを選択した場合は、日数（0～30 日）、時間と分数をドロップダウンリストから選択します。</p>

ステップ 4 [Submit] をクリックします。

ステップ 5 [Submit Result] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

次の作業

- 既存のスケジュールを選択し、スケジュール済みタスクの変更、削除、確認ができます。
[View Scheduled Tasks] には、ファームウェアのアップグレード、自動検出のステータスを確認できるレポートが表示されます。また、「[ファームウェアのアップグレード](#)」、「[サーバの自動検出](#)」、「[ハードウェアポリシーの適用](#)、または [ハードウェアプロファイルの適用](#)」で、スケジュールに関連付けられた適用ポリシーやプロファイルタスクのステータスを確認できるレポートも表示されます。
- スケジュールに関連付けられているタスク（複数可）を選択し、[Remove Scheduled Tasks] オプションを使用して、スケジュールとの関連を解除できます。